

子どもの将来の学力を伸ばす 絵本の読み聞かせ

～ 園だより5月号 園での読み聞かせ絵本のご紹介 ～

多くの本を読んで育つと、語彙やものごとの知識が豊富になるだけでなく、読解力・思考力・判断力・集中力・表現力・共感性が培われます。毎日のクラス毎の活動では、保育士が絵本や紙芝居の読み聞かせを実践中です。また、子どもたち自身も小さいうちから絵本を眺めたり、自分で読んだりしています。子どもたちは目をキラキラと輝かせ、絵本に集中しています。当園での年間読書量は約1000冊です。

乳幼児期から本に触れることにより、勉強の習慣付け、基礎学力の定着に繋がります。下記の通り、今月のおすすめ絵本をご紹介します。絵本選びの参考となれば幸いです。



★ 今月の読み聞かせ絵本のご紹介 ★

<赤ちゃん組・たんぽぽ組 (0・1歳児)>		<すみれ組 (2歳児)>	
			
タイトル	たまごをこんこんこん	タイトル	おぼけのやだもん
作者	あかま あきこ	作者	ひらの ゆきこ
出版社	ひさかたチャイルド	出版社	教育画劇
<さくら組 (3歳児)>		<もも組 (4歳児)>	
			
タイトル	そらまめくんのほくのいちにち	タイトル	クレヨンからのおねがい!
作者	なかや みわ	作者	ドリュー・テイウォルト
出版社	小学館	出版社	ほるぷ出版
<ふじ組 (5歳児)>			
			
タイトル	ねずみのでんしゃ		
作者	山下 明生		
出版社	チャイルド本社		